

実地調査結果について

1 目的

鹿児島港本港区エリアの利活用の全体像の検討を行うに当たっての参考とするため、県外港湾のウォーターフロントの利活用状況を実地調査するもの。

2 開催日時・場所

(1) 令和5年6月12日（月）午前9時～午後1時30分
高松港（サンポート高松）

(2) 令和5年6月13日（火）午前9時～午後2時
長崎港（元船地区，松が枝地区，長崎駅周辺）

※午後2時10分より30分程度，委員のみの意見交換会を実施

3 参加者数

全15名中延べ9名の委員が参加

4 結果概要

- ・ 検討委員会で今後の論点とされた「公共の機能の確保」，「導入機能」，「中心市街地との連携」，「景観への配慮」を中心に調査を行い，高松，長崎，それぞれ参考になるところがあった。

5 主な意見等

- ・ 人流と物流の輻輳を回避する必要（輻輳が懸念される地区あり）
- ・ 人を港に誘導する動線、仕掛けが必要（高松港では多目的広場に地下駐車場を設置、プロムナード整備を検討、長崎港ではボードウォークを整備）
- ・ 公共交通との結節が重要（両港とも JR 駅から近く、長崎港は路面電車の延伸を将来的に構想）
- ・ 公共施設整備では縣市連携が重要（高松のプロムナード整備では協議会を作り役割分担や費用負担を整理）
- ・ 視点場の設定（長崎港ではグラバー園から海に向けた視点場があり、近くに世界遺産の大浦天主堂があり、海を挟んだ向かい側にも産業革命遺産があることから厳しく規制）
- ・ 施設整備において景観やデザインへの配慮に行政が口を出せる状態を確保すべき（香川県立アリーナ整備における考え方）
- ・ まちづくりにおいて、無機質にならないよう緑地を入れておく、施設を詰め込みすぎないことも重要
- ・ 20 年単位でのまち全体に一貫性のあるデザインづくりとそのスキームの継続が重要
- ・ 設置するコンベンション施設については、誘致ターゲットとする M I C E の種別を明確にすることが肝要。（出島メッセは学会誘致を狙うとの戦略）
- ・ ウォーターフロントエリア内の公園のデザイン、有り様は大きなポイント。人が集い、楽しめる憩いの空間であること。
- ・ ウォーターフロントエリアに商業施設を誘致する場合、その施設とエリアの親和性にこだわること。

鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会 実地調査概要

	公共機能	導入機能	中心市街地との回遊性	景観への配慮	そのほか（運営等）	そのほか（MICE）
高松港 （サンポート高松）	<ul style="list-style-type: none"> ・高速艇・フェリー・クルーズ船岸壁 ・ターミナルビル、待合所 ・多目的広場 ・地下駐車場、地上駐車場 ・タクシー乗り場 ・ハーバープロムナード 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「シンボルタワー」（ビジネススクエア、国際会議場・ホール・会議室、飲食・物販、公共施設の入る複合ビル） ・レストハウス ・県立アリーナ ・国合同庁舎 等（隣接して高松駅、バスターミナル、ホテルが立地） 	港内における4つのプロムナード整備や、港から中心市街地への回遊性向上を目的としたプロムナード化の取組 等	近隣施設から瀬戸内海への眺望に配慮した提案を求め、高さを抑えた県立アリーナ整備の取組 等	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭の開催 ・一体的なまちづくり（エリアマネジメント）の手法としてサンポートFACTプロジェクトを実施 	<p>【サンポートシンボルタワー】（タワー棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際会議場400㎡（ホール棟） ・大ホール（劇場型）1,500席 ・第1小ホール（劇場型）312席 ・第2小ホール375㎡ ・展示場400㎡ ・会議室30～166㎡×12 <p>※タワー棟は30F建て、ホール棟は8F建て</p> <p>【JRホテルクレメント高松（隣接）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宴会場2,100㎡ ・小宴会場56, 60×3, 128, 100, 58㎡他 <p>※ホテルは21F建て</p> <p>【サンメッセ香川（サンポート高松から約8km）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大展示場4,015㎡ ・小展示場1,022㎡ ・大会議室516㎡ ・中～小会議室49～147㎡×4
長崎港内港地区 （尾上、元船、常磐・出島、松ヶ枝地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・高速船、フェリー、観光船、クルーズ船岸壁、耐震強化岸壁 ・「おのうえの丘」（防災緑地）、「長崎水辺の森公園」 ・地上駐車場、立体駐車場 ・ターミナルビル ・CIQターミナル ・貨物上屋 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドラゴンプロムナード」（多目的な利用に配慮したオープンスペース） ・「長崎出島ワーフ」（臨海型商業施設） 等（元船地区産業関連用地にはショッピングセンターが立地） 	賑わいや回遊性を高める松が枝地区整備構想や長崎港元船地区整備構想の取組 等	地区全体で施設のデザインの調整を行う環長崎港地域アーバンデザインシステムの取組 等	<ul style="list-style-type: none"> ・松ヶ枝地区において新ターミナルや駐車場、緑地、既存ターミナルの利活用についてPPP/PFI導入を予定 ・元船地区整備構想において民間活力の導入による官民連携事業を検討 	<p>【出島メッセ長崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションホール2,700㎡ ・イベント・展示ホール3,800㎡ ・大会議室600㎡ ・中会議室210～230㎡×4 ・小会議室20～130㎡×17

鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会 実地調査の状況



6月12日(月) 高松港

①概要説明

於:高松港ターミナルビル



②全体像の説明

於:高松シンボルタワー展望室



③(左)5万トン級岸壁

(右)3千トン, 5千トン級岸壁

鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会 実地調査の状況



- ④【公共機能の確保】
フェリー乗り場周辺の歩車
分離状況の確認



- ⑤【導入機能】
かがわ国際会議場



- ⑥【導入機能】
レストハウス
レストランMIKAYLA(ミケイラ)

鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会 実地調査の状況



6/13長崎港
⑦全体像の説明



⑧手前:元船地区
中央:常磐・出島地区(未視察)
奥 :松が枝地区



⑨【導入機能】
元船地区の荷さばきの状況

鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会 実地調査の状況



- ⑩【導入機能】
元船地区
右: 立体駐車場
中央奥: ドラゴンプロムナード
左: 上屋

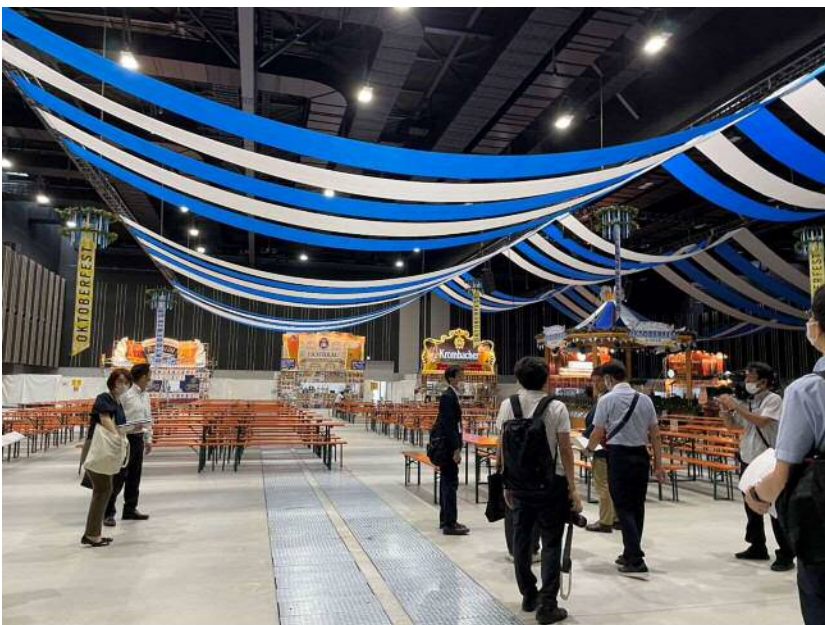


(近景)

- ⑪【景観への配慮】
松が枝国際旅客船
ターミナルの状況



(遠景)



- ⑫【導入機能】
出島メッセの展示ホール